



出典: [http://d-arch.ide.go.jp/je\\_archive/english/society/wp\\_unu\\_jpn35.html](http://d-arch.ide.go.jp/je_archive/english/society/wp_unu_jpn35.html)

**加賀藩の俸禄米について**  
 武士の給与にあたる「俸禄米」には、知行、扶持、切米の三種類があります。幕府では1俵=3斗5升(0.35石)でしたが、加賀藩では1俵=5斗(0.5石)で換算されました。

<知行> 指定された知行地からの年貢を受け取れるが、領民の取り分があるので四公六民とすると40%が受け取れる。  
 例: 知行100石: 100石の知行地が与えられるが、四公六民とするとそのうちの40石(80俵/年)が受け取れる

<扶持> 指定された人数分の年間消費量に相当する米が年数回に分けて支給される。  
 例: 5人扶持: 1人1日5合で計算され、9125合=91.25斗=9.125石(18俵/年)が春と年末の二回に分けて支給される。

<切米> 指定された俵数の米が年数回に分けて支給される。  
 例: 切米40俵が春と年末の二回に分けて支給される。